

らぶ Sports@

スポーツを愛する市民の写真情報紙
 8/18号
 毎週水曜日発行
 らぶき民報(夕刊)

お盆休みもスポーツに汗!!

- 第26回江名地区軟式野球大会
- 第27回三和町ソフトテニス大会
- 第34回バスケット祭り

15日に小名浜球場で熱戦を展開した江名地区軟式野球大会。幅広い世代の選手が白球を追い、野球を通して親ほくを深めた。



32チームが熱戦 平七夕サッカー交流大会

高校生がレベルアップ
ソフトテニスラエスタ

challenge!
2010

内郷一中の系乗道部

challenge! 2010 内郷一中女子柔道部



左から浅野遥香選手、岡本彩夏選手、岡本涼夏選手

今季の内郷一中柔道部は男女ともに県内外にその名を知らしめる成績を残した。特に女子の強さは抜きん出て、19日から島根県松江市で始まる第41回全国中学校柔道大会には、団体戦のほか、個人戦52kg級で浅野遥香選手(3年)が2年連続、70kg級には岡本涼夏選手(同)が出場する。

昨秋の県新人戦では、小名浜一戦で1人が引き分けただけ、ほか3試合はすべて3戦全勝で県の頂点に立った。個人戦でも団体戦メンバーである浅野選手(52kg級)、双子の岡本彩夏選手(63kg級)、涼夏選手(70kg級)がそろって優勝。ほかに石口せりな選手(現2年)が57kg級2位、菅野楓選手(現3年)も70kg級で3位と健闘した。その勢いは3年生になっても衰えず、7月の県中体では団体決勝トナメント回戦で大熊に1人が敗れたものの、準決勝の喜多方一戦、決勝の平一戦とも3-0の完勝だった。個人戦も岡本彩、岡本彩、岡本涼の3選手が新人戦に続いて連覇、石口選手も岡本彩選手と同じ階級で3位に入った。8月には宮城県仙台市で東北中学校柔道大会が開かれ、内郷一中は女子団体決勝で、東北中体4連覇を狙う強豪・五所川原(青森)に0-1で惜敗。しかし浅野選手が52kg級で東北一となり、岡本涼夏選手も3位に入った。

3人と県内きっての強豪スポーツ少年団「内郷柔道塾」(山崎憲一塾長の出身。小学生のころから内郷一中の道場で励みあひながら鍛えられた)に所属している。現在も、中学校での通常練習のあと、内郷綴町の山崎塾長宅の隣にある山崎道場を訪れて父親やまっぴいと一緒に夜10時、11時まで稽古に励む。辛(しんど)い稽古が嫌いではないと、よほど柔道が好きなのだそう。稽古中は3人も笑顔が欠かさない。幼いころから3人を知る山崎塾長は「勝ち負けにこだわらず、悔いのないように思い切った柔道をしてほしい」と言う。内郷一中柔道部の監督も「中学生活最後の大会。部活や柔道で学んできた柔道を全国の舞台で発揮してほしい」と期待するのに対して、3人は「全国大会でどこまで自分の柔道が通るか頑張りたい」と闘志を燃やしていた。

小学校時代から励み合った
3人がそろって全国の舞台へ



第15回ソフトテニスフェスタ

平テニスコートを会場に男子が3、4日、女子が5、6日に開催した。県内外から有力校が集まり、リーグ戦で数多くの実戦を経験。今後の飛躍に向けてレベルアップを図っていた。

第26回江名地区軟式野球大会

江名体協主催、江名公民館共催で15日、小名浜野球場で開催。5チームがトーナメントで激突した。選手は世代を超えて力を結集し、チームの優勝のために全力プレーを展開。熱戦の結果、浜風チームが優勝を飾った。



お盆休み恒例のスポーツイベント 3地区で熱戦



第27回三和町ソフトテニス大会

三和町ソフトテニス協会主催で15日、三和中テニスコートで熱戦を繰り広げた。市内の有力選手のほか、同町ゆかりの往年の名選手が参加。一般(中学2年生以上)男女、ジュニア(小学生、中学1年生)の3部門で優勝を争った。



第18回常磐交通観光杯 平七夕サッカー交流大会

平地区サッカー少年団後援会、常磐交通観光主催で7、8の両日、仁井田運動場などで開催した。県内外から32チームが出場し、J.K.K杯、七夕杯の2部門で激突。J.K.K杯はFC Regate(石川町)、七夕杯は塙山SSS(日立市)が制した。またいわき勢では、J.K.K杯で勿来・フォーウィズ、七夕杯で勿来SCSが3位に入った。



第34回バスケット祭り

小川中バスケットボール部OB会、同祭り実行委員会の主催。15日に小川中体育館で開催した。下は小学1年生から上は54歳まで約50人が参加。次々と入れ替わりながらコートに立ち、はつらつとしたプレーでさわやかな汗を流していた。



いわき民報社・SEAWAVE FMいわき コラボ企画

スポーツのチカラ④

NPO法人いわきサッカー協会 専務理事 大井川恵一さん



いわきのサッカーを支える専務理事の大井川さん

平成19年度にNPO法人化したいわきサッカー協会は組織の活性化、審判員の育成を含めた競技力向上、観戦者のニーズにこたえる大会運営、サッカーファミリーの拡充など、サッカー環境の一層の

ピッチとの距離感を大切にしながら サッカー環境の一層の充実を目指す

充実に向けて独自の活動を続けている。本年度はサッカー専用の芝グラウンドの建設・整備も目指している。その中心的役割を担うのが専務理事を務めている大井川さん。「まずは自分たちの手でやっ

得し、平成7年のふくしま国体をはじめ、全国高校選手権県予選決勝やJFLの審判を務め、着実にキャリアを積み上げた。忘れられないのが日韓ワールドカップが開かれた2002年。Jヴィレッジでキャンプを張ったアルゼンチン代表が非公開で鹿島アントラーズと練習試合を行った際、主審の役割を任せられた。シュートのようなスピードで回されるダイレクトパ

高に進んだ。4-3-3の中盤サイドでプレーし、高校2年時にはインターハイでベスト16。全国高校選手権出場の夢はかなわなかったが、同校の黄金時代の一翼を担った。卒業後は神奈川県に就職。社会人リーグでプレーし、29歳でいわきに戻ってからも企業チームでボールを追った。現役としての自らの力量を見極め、新たな目標に定めたのが審判の1級取得。29歳までに2級を取

てみるのが大切。そこから動きは広がっていく。現場との連携を密にしながら、課せられた職務の責任と向き合う日々を送る。植田中から、県内高校サッカーをリードする強豪だった勿来工業 スピードで回されるダイレクトパ

た。「お世話になった方々のためにも、自分の経験を伝えていかなければ」。いわき協会の審判委員長を務め、「いわきのサッカーレベルを上げるためには、審判のレベルも上げなければならない」との自負のもと、後進の育成に力を注いだ。カリキュラムの内容を委ね、門戸を広げ、選手の父親をサッカーに引き込んだ。サッカーを通じて親子のコミュニケーションを



錦太極拳サークル

- 会員数 12人(男5人、女7人)
- 講師 阿部 貴美江(日本健康太極拳協会師範)
- 代表者 斉藤 栄子
- 活動 毎月第1、2、4火曜日午前10時から11時半まで、錦公民館。50～80代のメンバーが、自分のペースで肩ひじ張らず、健康体操のつもりで取り組んでいる。講師の阿部さんが冗談を交えながら1人1人丁寧に指導してくれ、和気あいあいとした雰囲気活動している。
- P R 汗もかき、バランス感覚も養える。
- 連絡先 (63)0387(斉藤さん)

いい汗、流そー!

らぶSports@



審判として一線で活躍していたころ。数え切れない思い出がある

おおいがわ・けいいち 東京都生まれの48歳。勿来工業高で2年時にインターハイ出場。社会人でも現役を続けながら審判員を務め、日本サッカー協会2級を取得。現在は母校の植田中の指導にも当たる。

いわきのスポーツ人に迫る「スポーツのチカラ」はいわき民報社とSEAWAVE FMいわきのコラボ企画。「らぶ@スポーツ」の中で毎月第3水曜掲載です。同FMで毎週水曜午後7時からオンエア中の「いわき熱血スポーツ学園」に取材記者が出演し、紙面では紹介しきれなかった裏話などを通して、さらにスポーツ人の素顔に迫ります。今回のオンエアは8月25日の予定です。お楽しみに。

情報くりっぷ

- 【19日】(19～25日) 都県選抜チャレンジカップ県予選会(平ヶ丘コート) 20日
- 【20日】第16回いわきカップ中学校バスケットボール大会(南部アリーナなど) 21、22日
- 【21日】南東北大学野球連盟22年度秋季リーグ戦1、2部第1週(いわきグリーンスタジアム、平球場) 22日
- 第19回市学年別ソフトテニス大会・中学2年生の部(平ヶ丘コート) 22年度県卓球選手権大会兼全日本選手権いわき地区予選会(内郷コミュニティセンター) 22日
- 第15回マクドナルドカップ県大会(小名浜球場など) 22日
- 勿来ライオンズ杯南部地区中学校軟式野球大会(南部スタジアム) 22日
- 第2回IBCティール大会(勿来市民運動場) 22日
- 県民スポーツ大会(市立総合体育館など) 第38回小名浜地区子ども会親善球技大会(小名浜市民運動場、泉小グラウンド)
- 【募集】第2回いわきサンシャインマラソンが来月2月13日に開かれる。9月1日から参加者を募集。種目はフルマラソン、10キロ(一般男子、一般女子、高校男子)、5キロ(一般女子、高校女子、中学男子)、2キロ(3年以上以上の小学男女)、2キロベア(小学1、2年の親子)の5種目32部門。募集は11月15日まで先着順。申し込みはインターネット(携帯サイト)、専用振替払込用紙で行う。問い合わせは、いわきサンシャインマラソン実行委員会事務局(電話)(22)760711まで。

水曜日の顔

